

信用組合の人材育成モデル

職位	一般職		役付き職		管理職		経営者（役員）
			係長クラス	代理・調査役クラス	次長・課長クラス	部長・支店長クラス	理事長、理事・監事
年齢（目安）	新卒採用～20歳後半		30歳前半～30歳後半		40歳前半～50歳前半		50歳半ば以降
	基礎習熟期	専門性形成期	専門性発揮期		マネジメント能力・専門能力発揮期		経営管理能力発揮期
研修目的	理念の習得、信組人としての心構え、接遇の習得、業務の基礎知識習得		理念の実践、技能の習熟・専門性の習得		理念経営、高度な専門性習熟		理念の内外への発信
		単独処理しうる能力、的確な判断力の習得	管理職養成（初級） チームリーダー養成 中間層の役割と責任を認識し、業務全般の知識の習得及び渉外折衝力の強化・情報判断力の強化		管理職養成（中・上級）新しい経営戦略立案しうる総合的企画力、問題解決能力向上、部門目標の達成を目指す意思決定、経営方針に即した部門活動を向上させる管理能力、部門活動に有用な専門知識、技能の高度化		経営状況の変化に適応しうる経営管理能力
			コンプライアンスの基礎		コンプライアンスの習熟		ガバナンスと経営管理
研修方法	個別信用組合・地区協会等の研修を組み合わせ実施				地区協会・全信中協の研修を組み合わせ実施		全信中協の研修、外部研修への参加を組み合わせ実施